

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎 勢揃い公演 三日

安岐歌舞伎保存会（中津川市）

中津川市阿木地区（旧阿木村）は、古くは安岐郷と呼ばれ江戸時代から地歌舞伎が盛んな地域でした。万延元年（八六〇年）には村の中心部に芝居小屋「安岐座」が作られ、大正三年には「阿木公会堂」と名を変え、長年にわたり地歌舞伎などの催し物が盛大に行われていました。戦後も盛んに地歌舞伎公演が行われましたが、青年団などの活動が停滞すると公演も下火となり、昭和五十七年には阿木公会堂も老朽化などを理由に取り壊されます。

その後、昭和六十年に阿木中学校体育館竣工記念として、久しぶりに地歌舞伎が上演されたのをきっかけに「安岐歌舞伎保存会」が結成されました。以後、子ども歌舞伎を中心に公演を行っていましたが、後継者不足もあり平成十一年の公演を最後に活動を休止しました。このたびの「勢揃い公演」を契機に、地域の地歌舞伎愛好家が集まり、活動を再開することになりました。本公演を新たな出発点として、地歌舞伎を通じて地域の活性化につなげてまいります。



加子母の歌舞伎は、娯楽の少ない農山村の人々にとつて、江戸の頃から唯一の楽しみでした。明治二十七年には芝居小屋「明治座」が村民によって創建され、公演が盛んに行われました。しかし、大正時代の興行法や戦争中の娯楽の厳しい取り締まりにより、明治座での歌舞伎公演はしばらく休演することとなりました。

その後、各地の農村舞台が再び脚光を浴び始めた昭和四十七年、明治座が岐阜県重要有形民俗文化財に指定されました。これを契機に、昭和四十八年には、加子母の歌舞伎を愛する地元有志が集まって、「加子母歌舞伎愛好会」として再興し、公演を再開することができます。昭和四十九年には、「加子母歌舞伎保存会」と改称し、以降、毎年九月に明治座で定期公演を開催しています。

この間、資金や担い手不足など幾度も存続の危機がありましたが、地域の方々に保存会の会員になっていただきなくなり子どもから大人まで地域一丸となって乗り越えてきました。



新型コロナウイルス感染予防対策について

- ・発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- ・マスク着用の厳守（マスク非着用の方はご入場できません）
- ・手指消毒及び検温の実施（37.5°C以上の方はご入場できません）
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・出演者への声援や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止
- ・公演中のおひねり、大向こうの禁止

*「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
ご登録をいただきますと、感染者が発生した場合、同じ日に来訪された方にメールでお知らせいたします。

スタンプラリー
再開



開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプ
が1つたまります。スタンプ数に応じて
素敵なグッズをプレゼント！
※木札を忘れずにお持ちください。

ぎふ清流文化プラザ
YouTubeチャンネル

本公演の模様を収録し、後日配信します。



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

◆終演16時10分（予定） 演目・上演順は変更となる場合があります。

14時50分（80分）
えほんたいこうき じゅうだんめ あまがさきかんきよ
絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

加子母歌舞伎保存会（中津川市）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

寿式三番叟 安岐歌舞伎保存会（中津川市）

14時50分（80分）

14時00分（30分）
ことぶきしきさんばそう

絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閣居の場

寿式三番叟

安岐歌舞伎保存会（中津川市）

イヤホン同時解説

配役

姫 鈴木綾子

千歳

煙中 寛子

三番

鷹見 靖子

林紀代美

伊藤孝道

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

「寿式三番叟」は江戸時代元禄期に、能の「翁」を元に義太夫曲に改曲されました。文楽などの人形浄瑠璃、また歌舞伎舞踊としても特別の祝儀物として大切に演じられてきました。始めに姫と三人の千歳が登場します。鶴と亀の齢を祝す舞があつて、二人の三番が鳴物に合わせにぎやかに現れます。

天下泰平・国土安穏・五穀豊穣を願い、舞台狭しと踊ります。最後の鈴の段になると、本日ご来場の皆様に福あれと、幸せの種蒔をして、本日の舞台を舞い清めます。

絵本太功記

十段目 尼ヶ崎閑居の場

加子母歌舞伎保存会（中津川市）

えほんたいこうき

じゅうだんめ

あまがさきかんきよ

ば

たけちじゅうびょうえみつひで

たけちじゅうじろうみつよし

武智十兵衛光秀の子 武智十次郎光義は、本日初陣の門出を迎

たけちじゅうびょうえみつひで

たけちじゅうじろうみつよし

えます。出陣前に光秀の母 卯月のとりなしにより婚約者の初菊

たけちじゅうびょうえみつひで

たけちじゅうじろうみつよし

と祝言を挙げました。喜びもつかの間、時が迫り、出陣をする十次

たけちじゅうびょうえみつひで

たけちじゅうじろうみつよし

郎にすがる初菊を振り切り、討死を覚悟して戦場へ向か

たけちじゅうびょうえみつひで

たけちじゅうじろうみつよし

います。

本能寺において、光秀に、主君 小田上総介春永を討たれた真柴

ちくせんのかみひよし

筑前守久吉は、旅僧に扮し、尼ヶ崎にある卯月の住まいに入り込

んでいます。ことを知った光秀は、家に忍び込み、持っていた竹

槍を襖越しに刺し込みます。手負いを引き出すと、久吉ではなく、

卯月に竹槍が刺さっていたのでした。騒ぎを聞き、初菊と共に光秀

の妻操が駆け付けます。卯月は光秀を諫め、主君（春永）を討つた

からだと責め息絶え、操は夫を恨み嘆きます。

そこへ、十次郎が戦場から戻り、敗戦を物語り、家族に見守られ

ながら息絶えます。

この重ね重ねの出来事に進退窮まった光秀の前に、久吉と加藤

とらのすけまさきよ

虎之介正清が現れ、互いの勝負は山崎の戦場で決しようと再開を

約し、別れるのでした。

葛西聖司氏

東京都出身。古典芸能解説者。

NHKアナウンサーとしてテレビ、ラジオで様々な番組を担当してきた。現在は、歌舞伎や能狂言など古典芸能の解説や講演として学んでおきたい能・狂言、「僕らの歌舞伎」、「文楽のツボ」ほか著書多数。



◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

◆配役

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅愛子

小倉恒平

後見 伊藤靖子

大上 祐二

後見 三宅